

## アクアトラップ® 構成部材表

※「アクアプラ®工法」、「アクアトラップ®」は明治ゴム化成の登録商標です。

品名	ユニット					平板		H駒 (ジョイント)
	A5	A8	A9	A13	A13S	フル	ハーフ	
寸法 (mm)	502.5×502.5×273.5					500×500×20	500×248×20	21.5×15.7×25.0
柱数 (本)	5	8	9	13	13	—	—	—
材質	リサイクルポリプロピレン							
質量 (kg)	2.215	2.585	2.710	3.200	3.200	0.855	0.428	0.0023
鉛直圧縮強度 (kN/㎡)	95	163	178	260	304	—	—	—
水平圧縮強度 (kN/㎡)	52	52	52	52	59	—	—	—
鉛直クリープ強度 (kN/㎡)	29.4	36.3	39.2	49.0	63.7	—	—	—
最大土被り (m)	0.5(1.6)	2.0(2.0)	2.0(2.1)	2.0(2.7)	2.0(2.7)	—	—	—
最大埋設深度 (m)	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	—	—	—
最大槽幅	22.3	18.8	18.8	18.8	18.8	—	—	—



ユニット (A9)



平板フル



平板ハーフ



H駒 (ジョイント)

※ ( ) 内は、耐震性能 (レベル2地震等) を必要としない場合 (死荷重による) の最大土被りとします。

## アクアプラネット® 構成部材表

品名	ユニット	平板		底板
	アクアプラネット®	フル	ハーフ	
寸法 (mm)	502.5×1005×273.5	500×500×20	500×248×20	500×500×20
柱数 (本)	8	—	—	—
材質	リサイクルポリプロピレン			
質量 (kg)	4.5	0.855	0.428	0.46
鉛直圧縮強度 (kN/㎡)	145	—	—	—
水平圧縮強度 (kN/㎡)	52	—	—	—
鉛直クリープ強度 (kN/㎡)	49	—	—	—
最大土被り (m)	2.0(2.7)	—	—	—
最大埋設深度 (m)	2.9	—	—	—
最大槽幅	43.0	—	—	—



ユニット



平板フル



底板

※ 最小土被りは0.5mを標準とします。ただし、戸建て住宅の駐車場 (一般車両用) や緑地などの小規模施設については、最少土被りを0.3mとする場合があります。  
※ ( ) 内は、耐震性能 (レベル2地震時) を必要としない場合 (死荷重) の最大土被りとします。

## 前田道路株式会社

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0031  
 技術研究所 〒300-4111 茨城県土浦市大畑 208 TEL:029-833-4311  
 北海道支店 〒064-0811 札幌市中央区南 11 条西 11-2-1 札幌山鼻MKD 2ビル TEL:011-561-5181  
 東北支店 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 4-11 ウインド・エコパワーマKD9ビル TEL:022-265-1151  
 北関東支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 1-11-2 勝俣ビル TEL:048-643-3641  
 東京支店 〒108-8643 東京都港区白金台 5-22-12 前田道路白金ビル TEL:03-3448-2231  
 西関東支店 〒231-0032 横浜市中区不老町 3-12-5 下山関内ビル TEL:045-662-4121  
 中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄 5-25-25 MKD名古屋ビル TEL:052-262-1320  
 関西支店 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-5-30 MKD10大阪ビル TEL:06-6253-7501  
 中国支店 〒730-0045 広島市中区鶴見町 4-22 MKD1ビル TEL:082-246-4422  
 九州支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-14-1 スフィクスセンター TEL:092-411-9421  
 北陸支店 〒950-0916 新潟市中央区米山 3-2-11 新潟米山MKD 5ビル TEL:025-241-0460  
 四国支店 〒760-0050 香川県高松市亀井町 7-15 セントラル第1ビル TEL:087-862-1780

### ■ 製造元

株式会社明治ゴム化成  
 東京都新宿区西新宿 7-22-35  
 TEL:03-5338-4693 FAX:03-3361-4957  
 担当 (落合・吉田)

# アクアプラ®工法



アクアプラ®工法は、地下空間を利用し、雨水を一時的に貯留する工法です。本工法は、雨水を雑用水、防火用水など非常用水として再利用、または地下へ徐々に浸透させることで、降雨による都市型洪水・河川への急激な流入とそれに伴う水質悪化の抑制、地下水の枯渇問題を改善し、都市環境に潤いを創出することを目的に開発されました。

# ゲリラ豪雨対策と雨水利用で環境にやさしいまちづくりへ

近年、局地的洪水が地球規模での環境変動による集中豪雨や、都市部を中心としたゲリラ豪雨によって頻発しています。また、都市化・宅地化による非浸透面の拡大が、この問題に更に拍車をかけています。

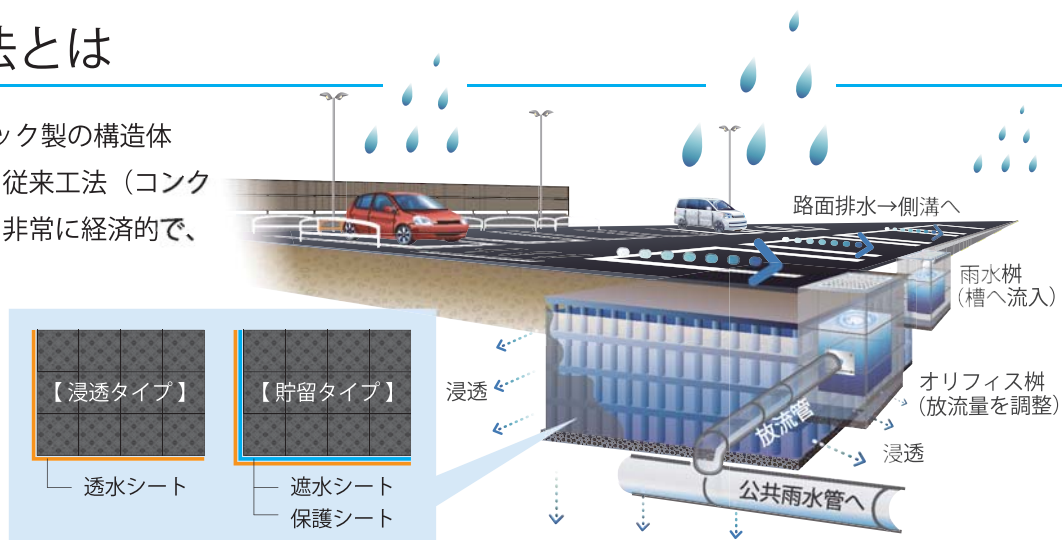
事業主は都市型水害への対策として、大規模な開発行為のみならず、小規模な開発や建造物を建てる際に「雨水流出抑制施設」を各行政の条例等に沿って適宜設置することが義務化されつつあります。

「雨水流出抑制施設」とは、都市空間の地下に雨水を一時的に貯留し、徐々に浸透もしくは放流させる施設で、前田道路では機能性、施工性、経済性等の特徴を併せもつ工法「**アクアプラ®工法**」を採用し、10年にわたり多くの施工実績を積み重ねてきました。

## アクアプラ®工法とは

「アクアプラ®工法」は、プラスチック製の構造体を地下に組立て埋設するもので、従来工法（コンクリート工法や砕石工法）に比べて非常に経済的で、維持管理も容易に行えます。

透水（保護）シートまたは遮水シートの組み合わせで【浸透タイプ】・【貯留タイプ】いずれの用途にも使用できます。



## かんたん組立イメージ

ユニット：502.5×502.5×273.5

平板（フル）：500×500×20



平板（フル）：500×500×20

4段組み立てた状態

ジョイント：H駒

アクアトラップ®組立て完成

## 施工手順



1 掘削



2 床面整地



3 保護シート・遮水シート底面敷設  
(遮水シートは貯留タイプのみ)



4 荷卸し



5 ユニット組立・H駒挿入  
(H駒はアクアトラップ®のみ)



6 保護シート（全面）敷設  
遮水シート（側面）敷設



7 埋戻し

# アクアトラップ®

信頼と実績の定番ユニット

## アクアトラップの特長

- 1 高い空隙率（約 95%）
- 2 高い強度（T-25 対応）と耐震性能
- 3 簡単施工で工期短縮
- 4 トップレベルの視認性と流動性
- 5 環境にやさしいリサイクル原料



(社) 雨水貯留浸透協会  
技術評価認定 / 取得

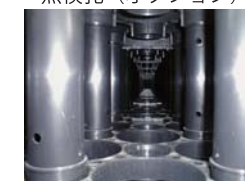
- 1 段積み H0.294m
- 2 段積み H0.548m
- 3 段積み H0.802m
- 4 段積み H1.056m
- 5 段積み H1.310m
- 6 段積み H1.564m
- 7 段積み H1.818m
- 8 段積み H2.072m



点検孔（オプション）



真上から見た状態



側面から見た状態

## NEW アクアプラネット®

Aqua Plastic New Environmental Trap

井桁積みで 性能 UP ▲ コスト DOWN ▼ を実現！

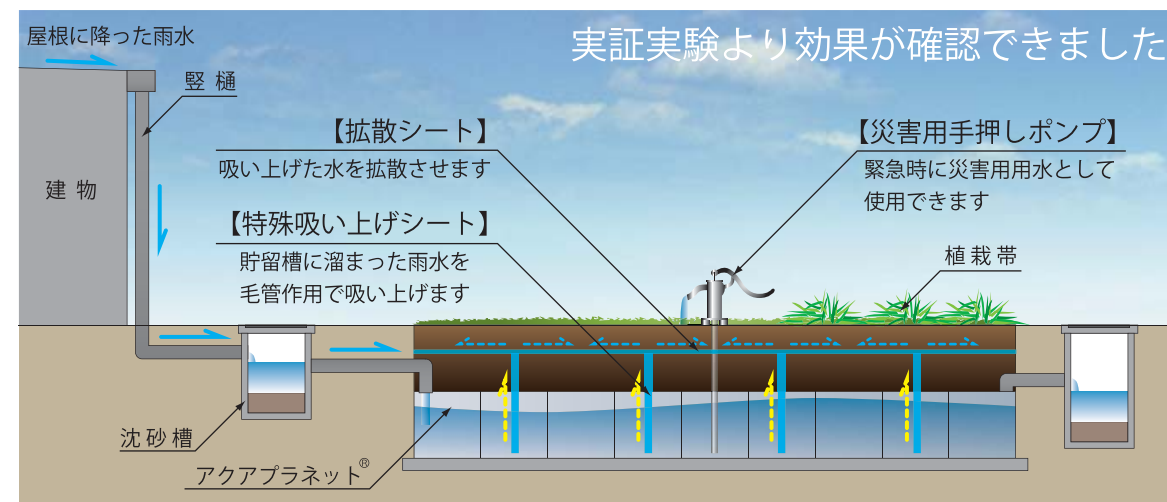


新ユニット：502.5×1005×273.5

## アクアプラネットの改良点

- 6 槽の安定性が向上：井桁積み工法
- 7 槽の視認性が向上：脚を均等に配置
- 8 槽の施工性が向上：ユニットを大型化
- 9 部材コストの低減：ジョイント部材（H駒）なし
- 10 輸送コストの低減：積載効率を向上

## 前田道路の雨水利用 - 無動力灌水システム / 災害用手押しポンプ



無動力灌水システムあり



無動力灌水システムなし